



○生徒のいない学校

4月20日(月)～5月31日(金)の42日間(登校日数で言うと25日間)の臨時休校期間が終わろうとしている。

この期間す〜っと感じていたのだが、君たち生徒のいない学校って何だかなあってこと。当たり前だけど、学校は君たち生徒がいて成り立つものであるということを痛感した期間だった。学校再開後のことを考えたり、数学の解説動画を撮影したりしながら学校で感じていた。

また、今までは部活動があったり、部活動終了後に、次の日の用意をしったりしていたのに、この期間は退勤時間が早かったり、土日も部活動がなかったりしたので、家にいる時間が増えた。家族と過ごす時間が増えた。教員になってから初めてのことばかりだった。

色々なことを感じて、考えて、悩んで過ごした42日間でした。これらの経験は、この先自分の人生に役に立つに違いない。それらの多くを君たちに還元していこう楽しみにしている。同時にこのまま状況が好転していくのだろうか、自分や家族は感染しないのかなどたくさん不安もある。

君たちはどういう日々を過ごしていたのであろうか。楽しく過ごした？有意義に過ごせた？つまらなく過ごした？これからどのように過ごしていこうと思っているか。勉強や部活動を頑張ろう？友達と楽しく過ごそう？先の見えない中、将来に対して希望を抱いている人もそうでない人もいるでしょう。

○希望を抱いている人たちへ。

希望を持っていることは素晴らしいことだ。ただ、いきなり全力で行かなくても大丈夫だよ。今までと状況が違う。もしかしたら、目に見えない形で負荷がかかっているかもしれない。自分の体や心としっかりと向き合い、徐々にギアを上げていこう。

○希望を持てない人たちへ。

もしかしたらいるのではないか、と先生方は思っているよ。大丈夫、自分だけで抱えきれない人は、先生方に話してごらん。伝えてごらん。少しずつでも希望を持っていけるように、ちょっとずつでいいから一緒に前に進んでゆこう。

どちらにも共通して言えることは

目の前のことを一つ一つ大事に過こしてゆこう。その目の前のことは人それぞれで違う。ただ、その努力の積み重ねが、君の将来を創るのだ。

さあ、これからはどんな日にしてゆこうか。

生徒指導部 古主 正信